

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年6月4日発行（第3号）

学びの質に着目した授業改善

～第1回管内指導主事・社会教育主事研究協議会～

5月22日（火）に、五霞町教育委員会並びに五霞町立五霞西小学校、五霞中学校の皆様の御協力のもと開催しました。本研究協議会は、指導主事が協力校の先生方と授業づくりを行い、授業参観、研究協議を通して指導主事・社会教育主事としての資質や指導力の向上を図り、各学校の授業改善のさらなる推進を目的としています。本年度の授業づくりの視点は、「**学びの質に着目した授業改善**」を意識し、子供の「**主体的・対話的で深い学び**」を支援する授業としました。

【理科】「とじこめた空気や水」（4年1組）菅谷 あや乃教諭、西 俊隆指導主事（古河市）

本時の目標	・閉じ込めた空気と水に力を加えたときの押し返す力の違いを、空気や水の性質を踏まえ予想することができる。
研究協議会で出された内容	・導入で「?BOX」（どの実験キットが一番飛ぶかな？）を活用したことで、児童の興味・関心が高まり、主体的に活動しようとする意欲が見られた。 ・てっぽう内の空気の様子を表現した各児童の図の中に、工夫した表現や興味深い表現が多く見られた。 ・予想をする時には、時間を十分確保し、明確な根拠をもって予想できるようにすることが大切である。



【「?BOX」を用いて導入の工夫】

【学級活動】「1年生との交流会を開こう」（6年1組）後藤 美香教諭、中村 敏広指導主事（結城市）

本時のねらい	・よりよい交流会にするために他学年のことを考えながら、創意工夫を生かした取組や提案について話し合って合意形成を図り、協力して実践できるようにする。
研究協議会で出された内容	・導入で、学級の歌を全員で歌うなど、話し合い活動の基盤となる学級づくり（受容的な学級風土）がしっかりとされていた。 ・児童から、1年生や友達のことを考え、工夫した意見が出されていた。 ・教師の終末の話は、学習の流れに沿ってポイントを抑えることが大切である。



【同会グループの役割分担を明確化】

【道徳】「みんなの自由な公園」（1年2組）奥井 隆行教諭、小林 詠二指導主事（県西教育事務所）

本時のねらい	・きまりのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にしようとする道徳的心情を養う。
研究協議会で出された内容	・課題について自分事として考えていた。発問によって、心の葛藤があり、ネームプレートで友達の考えを確認しながら多様な考えに触れ、自分の考えを深めていた。 ・本時のねらいに迫るために、中心発問をする前までに、どのような補助発問が必要なのかなど、工夫されていた。 ・ねらいに迫るために、時間配分を工夫することで、中心発問に関して、もっと生徒が深く考えられるようにしていくことが大切である。



【生徒の考えを可視化】

【英語】「Unit2 A trip to the U.K.」（2年1組）館野 勝昌教諭、柴崎 愛美指導主事（坂東市）

本時の目標	・メモをもとに、友達や自分の週末の予定について3文で書くことができる。
研究協議会で出された内容	・導入（即興的な会話）からまとめまで学びが繋がっており、技能統合型の意欲の高まる授業展開であった。 ・T1とT2のデモンストレーションでの「やりとり」は、生徒をひきつけ、グッドモデルとして授業の見通しがもてる提示であった。 ・言語活動においては、ペアやグループ活動をふんだんに取り入れ、コーナー学習で一人一人に発表の場面を提供するなど、自己の表現力を高める授業展開が大切である。



【即興的なウォームアップ】

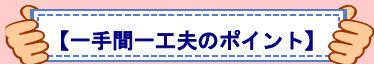
【総務課より】【児童手当の現況確認について】

児童手当の支給を受けている職員（臨時的任用職員を除く）は6月に所属校で現況確認を行います。

これは、毎年6月1日時点で、支給要件を満たしていること及び前年の所得が所得制限限度額を超えていないことを確認するものです。

所属校の事務担当者に添付書類を確認の上、「現況届」とともに、**必ず6月中**に提出してください。

筑西市立明野中学校では、学校のキャッチフレーズとして、『夢と感動のあふれる一人一人が輝く学校』を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。また、校訓『自主 自立 協働』を掲げ、教育目標「自ら学び 心豊かで たくましい生徒」の育成を目指しています。大竹 光枝教諭は、数学の授業を中心に、生徒が学びの主体者となり、数学を学ぶ楽しさを実感できる授業を心掛け、指導にあたっています。



【一手間一工夫のポイント】

～主体的・対話的で深い学びのある数学の授業を目指して～

① 全国学力・学習状況調査から見られる生徒のつまづきを踏まえた学習問題づくり

平成29年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「図形の移動」を数学的な表現を用いて説明することに課題があることが分かり、【授業アイデア例】を参考に授業を設計した。

ア 授業のまとめを想定し、主体的・対話的で深い学びのある活動になるよう、相手意識・目的意識がもてる比較検討場面を構想する。

イ 「移動」の基礎・基本の学習で、生徒が興味をもって取り組んでいた敷き詰め模様の図形を学習問題として取り扱うこととし、めあてを『敷き詰め模様の中の「移動」に着目して説明しよう』とした。

② 一人一人が主体的に活動し、対話のある授業展開

学習問題は「移動説明書を書こう」である。正確な説明書を書くという目的に向かって、生徒は話し合いを進めていった。

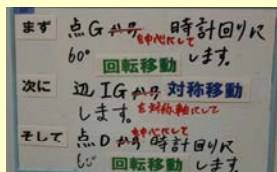
ア 他の班の生徒(相手意識)に説明するための説明書を書く。

※移動前と移動後の図形を決め、3回の移動を正確に伝えるための説明書作りをする。

イ 班の代表が他の班の生徒に実際に説明し、説明不足な点について助言を受ける。

ウ 自分の班に戻り、説明書の不備について再度話し合う。

このように、説明する側と説明を受ける側の両方の立場を経験したり、再度自分たちの説明を練り直したりすることを通して、正確な説明書を書くために必要なことに気づき、理解が深まっていった。

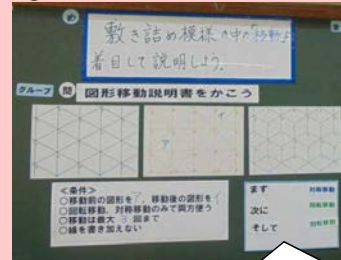


《練り直した説明書》

③ 主体的・対話的で深い学びに欠かせない既習事項の振り返り

生徒間の話し合いがスムーズにできるようにするためには、既習事項の定着は重要であるので、授業の始めには既習事項の振り返りを必ず行っている。フラッシュ計算や数学用語の確認などICT機器等を活用しながら楽しく、テンポよく行い、習熟するようにしている。

《①の実践例 本時の課題提示》



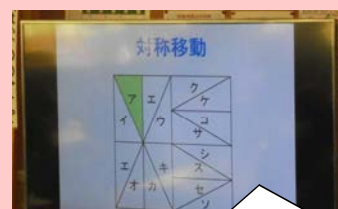
敷き詰め模様の学習問題を提示し、主体的に学ぶ意欲を高める。

《②の実践例 グループ活動の様子》



正確な説明書を書くという目的意識をもつことで、活発な話し合いをする。

《③の実践例 既習事項の確認》



一問一答で既習事項の確認を行うことで、理解を深める。

【大竹教諭から】

生徒が考えたいくなるような問題を工夫したり、比較検討場面での活動を工夫したりして、生徒一人一人が主体的に活動できる授業を心掛けています。昨年度は、新しい課題について考えたいという意欲的な生徒が増え、課題を解決するために互いの考えを出し合い、それぞれのよさを認め合う授業が展開できるようになりました。

また、本校では、全ての教科の研究授業を相互参観をし、互いの意見を交流することで授業改善に役立てています。

さらに、学校全体で、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに取り組みます。

【幼児児童生徒の安全確保の徹底】

□ 登下校の安全確保は万全ですか。

- ・「いかのおすし」の遵守(行かない、乗らない、大きな声を出す、すぐに逃げる、知らせる)
- ・防犯ブザーの活用方法の指導
- ・子供を守る110番の家の周知
- ・不審者情報掲示板の活用

※不審な人物を見かけたら警察に通報すること。

【学校徴収金等の適正な取扱い】

□ 払い戻しに用いる印は私印ではなく、公印となっていますか。

□ 払い戻しは、教頭が事前に審査し、校長が押印するなど、管理職による確認を必ず行っていますか。

□ 旅行積立、記念行事実施のための積立等、執行しない年度のある徴収金であっても、納入金額と通帳に記帳されている金額が一致していることを確認するなど、学校徴収金のすべてについて随時、検査を行っていますか。

□ 学校徴収金の保管については、通帳で管理し、現金保管を行わないようにしていますか。

□ 学期末や年度末における会計監査を、管理職が確実かつ適正に行うとともに、保護者等の外部関係者による監査を行っていますか。

※参考 平成21年1月6日付け、義教第1654-1号「学校徴収金の適正な取扱いについて(通知)」より

※実効性のあるチェック体制を構築し、不祥事を防止しましょう!

